

ウッチーの
校長室だより
令和2年4月20日

春風接人



校門の桜の木も、花びらの代わりに緑色の新芽が出始めてきました。ピンクの花びらの下を小走りに登下校する子ども達の姿、元気な声、ランドセルから聞こえるコトコトという音、新学期の風物詩が今年一つありませんでした。世の中に危険なことが多くなってきても、学校だけは安全な所であってほしいと思っています。しかし、最近ではそういうわけにいかないことが多くなってきました。今回のコロナについても同様です。再開に向けては、「入れない・拡げない」を目標に、しっかりと対策・対応をしていきたいと思えます。机の間隔をできるだけ離しての授業、話し合い活動の自粛、手洗いや換気の励行、検温やアルコール消毒等々をマニュアル化して徹底的に取り組んでいきます。ご家庭でも、帰宅後の手洗いやうがい、毎日の検温、不要な外出を控えるなどお力添えをお願いします。

さて、21日22日には、ようやく教科書をお渡しすることができそうです。大変お待たせしました。子ども達も、学校が始まるという実感が少しずつ湧いてくるのではないでしょう。真新しい教科書にしっかり名前を書き、表紙にはまっすぐきれいな折り目を付けさせてください。表紙の折り目が斜めになっているとやる気も湧きません。何事も最初が肝心です。新しい教科書を読みながら、連休明けのスタートに向けて生活のリズムを整えるようお願いいたします。

在校生にとっては、3月からの2カ月間という長い休業でした。突然のことでもあり、その間家から出ることも制約され、ストレスもたまっていることでしょう。学校生活にうまく切り替えられるか不安だと思います。我々職員も、これまでに経験したことのない状況の中、先の見通しも不安定で、どのように授業や行事などの計画を立てていけばよいのか不安でいっぱいです。子ども達と共に、今できることを一つ一つ丁寧に取り組んでいくことが最良だと考えています。みんなが不安を抱えているのですから、みんなで支え合い、助け合って進んでいきたいと思えます。また、お子様のことでご心配なことがありましたら、いつでも学校(22-1293)にご連絡ください。